【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和3年2月12日(2021.2.12)

【公開番号】特開2019-118640(P2019-118640A)
【公開日】令和1年7月22日(2019.7.22)
【年通号数】公開・登録公報2019-029
【出願番号】特願2018-356(P2018-356)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】令和2年12月25日(2020.12.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
発射装置により発射された遊技球が案内される遊技領域と、
遊技領域を移動する遊技球が入球可能な第１始動入球手段、及び、第２始動入球手段と、
前記第１始動入球手段に入球した遊技球を検知可能な第１始動入球検知手段と、
前記第２始動入球手段に入球した遊技球を検知可能な第２始動入球検知手段と、
前記第１始動入球検知手段による検知が行われた場合に特別遊技状態を発生させるか否かの当否抽選を行い、当該当否抽選に当選した場合に、対応する前記特別遊技状態を発生させる第１特別遊技発生手段と、
前記第１特別遊技発生手段が行う前記当否抽選の結果を教示可能な第１表示を実行する第１表示手段と、
前記第２始動入球検知手段による検知が行われた場合に前記当否抽選を行い、当該当否抽選に当選した場合に、対応する前記特別遊技状態を発生させる第２特別遊技発生手段と、
前記第２特別遊技発生手段が行う前記当否抽選の結果を教示可能な第２表示を実行する第２表示手段とを備え、
前記第２表示の所定時間あたりの実行回数が少なくなり易い低状態と、前記低状態よりも多くなり易い高状態とに状態変化可能に構成され、
前記第１表示の実行期間の長さである第１時間を決定する場合に参照される第１時間決定テーブルと、
前記第２表示の実行期間の長さである第２時間を決定する場合に参照される第２時間決定テーブルとを備え、
前記第２時間決定テーブルには、前記低状態にある場合に参照される低状態時第２テーブルと、前記高状態にある場合に参照される高状態時第２テーブルとが設けられ、
前記高状態時第２テーブルには、選択される前記第２時間の長さの振分けが異なる複数のパターン対応テーブルが設けられ、前記当否抽選の結果に応じて参照される前記パターン対応テーブルが決定されるよう構成され、
前記高状態が付与される場合に、前記高状態において、前記パターン対応テーブルのうちいずれを参照して前記第２時間を決定するかを決定することを特徴とする遊技機。

【請求項２】
前記高状態において、前記第１表示、及び、前記第２表示が行われる回数の上限が設定され、
前記高状態において実行可能な前記第１表示、及び、前記第２表示の残り回数をカウントする残り回数カウント手段を備え、
前記高状態において、前記第１表示、及び、前記第２表示が開始される際に前記残り回数カウント手段の値が更新されるよう構成され、
前記高状態において、前記第２時間は、前記第１時間よりも短く設定され、かつ、
前記高状態において前記第２表示を開始させる際の設定に際し、当該第２表示が前記高状態における上限に対応する前記第２表示である場合、前記第２時間の設定に際して、専用の前記パターン対応テーブルが参照されることを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【請求項３】
前記１表示手段における前記第１表示と、前記第２表示手段における前記第２表示とを並行して実行可能に構成されていることを特徴とする請求項１又は２に記載の遊技機。
【請求項４】
前記第１表示、及び、前記第２表示のうち一方が終了した場合に、他方が実行されている場合であって、前記一方において前記特別遊技状態が発生する旨が教示された場合には、前記他方が中断され、前記一方において教示された前記特別遊技状態の終了後に、前記中断された他方が、中断されたところから再開されることを特徴とする請求項３に記載の遊技機。
【請求項５】
前記第１時間決定テーブルには、前記低状態にある場合に参照される低状態時第１テーブルと、前記高状態にある場合に参照される高状態時第１テーブルとが設けられ、
前記高状態時第１テーブルには、選択される前記第１時間の長さの振分けが異なる複数のパターン対応テーブルが設けられ、前記当否抽選の結果に応じて参照される前記パターン対応テーブルが決定されるよう構成され、
前記高状態が付与される場合に、前記高状態において、前記パターン対応テーブルのうちいずれを参照して前記第１時間、及び、前記第２時間を決定するかを決定することを特徴とする請求項３又は４に記載の遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明の遊技機は、
発射装置により発射された遊技球が案内される遊技領域と、
遊技領域を移動する遊技球が入球可能な第１始動入球手段、及び、第２始動入球手段と、
前記第１始動入球手段に入球した遊技球を検知可能な第１始動入球検知手段と、
前記第２始動入球手段に入球した遊技球を検知可能な第２始動入球検知手段と、
前記第１始動入球検知手段による検知が行われた場合に特別遊技状態を発生させるか否かの当否抽選を行い、当該当否抽選に当選した場合に、対応する前記特別遊技状態を発生させる第１特別遊技発生手段と、
前記第１特別遊技発生手段が行う前記当否抽選の結果を教示可能な第１表示を実行する第１表示手段と、
前記第２始動入球検知手段による検知が行われた場合に前記当否抽選を行い、当該当否抽選に当選した場合に、対応する前記特別遊技状態を発生させる第２特別遊技発生手段と、
前記第２特別遊技発生手段が行う前記当否抽選の結果を教示可能な第２表示を実行する

第２表示手段とを備え、
前記第２表示の所定時間あたりの実行回数が少なくなり易い低状態と、前記低状態よりも多くなり易い高状態とに状態変化可能に構成され、
前記第１表示の実行期間の長さである第１時間を決定する場合に参照される第１時間決定テーブルと、
前記第２表示の実行期間の長さである第２時間を決定する場合に参照される第２時間決定テーブルとを備え、
前記第２時間決定テーブルには、前記低状態にある場合に参照される低状態時第２テーブルと、前記高状態にある場合に参照される高状態時第２テーブルとが設けられ、
前記高状態時第２テーブルには、選択される前記第２時間の長さの振分けが異なる複数のパターン対応テーブルが設けられ、前記当否抽選の結果に応じて参照される前記パターン対応テーブルが決定されるよう構成され、
前記高状態が付与される場合に、前記高状態において、前記パターン対応テーブルのうちいずれを参照して前記第２時間を決定するかを決定することを特徴としている。